

雑感

それぞれの未来へ =送る言葉=

3月、6年生の4人の子どもたちが、この学校からそれぞれの未来へ向かって巣立って行きました。卒業式のとき、彼らに次のようなメッセージを送りました。

『この学園の学校案内のリーフレットの「こどもの森の教育が目指すもの」という文章の中に、みなさんに身に付けてほしいことが書かれています。それは「自分を表現する」、「自律して学習する」、「チャレンジする」、「協力して行動する」の4つです。

「自分を表現する」は、自分の考えを文章に書いたり、発表したりすること。「プロジェクト」での作品作りもそうですが、「ハッピータイム」や「全校集会」で自分の考えを言ったりすることで、自分を表現してきました。「自律して学習する」は、自分で学習計画を立てたり、プロジェクトの材料集めから作品の完成まで自分の力でやってきました。「チャレンジする」は、今の自分のできるこ

とよりもちょっと難しいことに取り組んできました。そして、「協力して行動する」は、この学校を支えているのは自分たち一人ひとりだという気持ちを持って、学校生活のあらゆる面で協力し合ってきました。この学校での生活の中でこれらの態度を身に付けて来られたと思います。卒業生してからもこれらのことを実行して行ってほしいと思います。

それからもう一つ。ときどきは「自分を振り返る」ということをやってほしいと思います。自分を振り返るということは、客観的に自分を見つめるということです。近頃、自分を表現しているだろうか？チャレンジしているだろうか？人と協力してやっているだろうか？もし、それができていないようだったら、もっと努力してください。そうすれば、みなさんがこの学園で培ったものを、それぞれの新しい環境の中で花咲かせることができるでしょう。』(辻 正矩)

こんな学校に出会いたかった！！

♪♪ 箕面こどもの森学園 生徒募集 ♪♪

子どもたちの主体的な学びを支援するオルタナティブ・スクールです。子どもの興味関心を学習の中心にすえ、子ども自身の生活から学習を組み立てるフレネ教育の考えと方法を取り入れています。

募集人数：10名程度

対象年齢：6～11歳（小学5年生まで）

場所：箕面市小野原西6丁目15-31

見学：随時（ご相談の上で日程を決めます）

体験入学：見学の後、学校の平常の授業を5日間体験していただきます。

入学面接：ご相談の上で日程を決めます。

問合せ先：箕面こどもの森学園

※ 見学、入学ご希望の方はご連絡ください。



アクセス：阪急北千里駅から北へ徒歩15分

《編集後記》

2012年度の新学期が始まりました。今年は新入生・転入生2名を迎えて16人の生徒でスタートしました。これまで常勤スタッフは、藤田さん一人でしたが、守安あゆみさんが今年から常勤スタッフになられました。また、中尾有里さんが専任スタッフに、廣田景一さんが非常勤スタッフになられました。そのほかにも、新しい学習サポーターや特別講師の方たちに加わっていただき、16人のスタッフ体制になりました。教育内容がいろいろ変化富み、充実したものになるでしょう。

NPO法人の活動は、これからもイベントやこどもの森講座など対外的なアピールをしっかりやっていきたいと思っています。また、認定NPO法人になる準備もやっています。また、認定NPO法人になる準備もやっています。(辻)



卒業を祝う会と劇団アニマルズ

3月23日、小雨の中、卒業式と卒業を祝う会が開かれました。学園長から一人ひとりに手渡される卒業証書。それを受けとる子どもたちの誇らしそうな顔と、校長からの一人ひとりの子どもたちへのメッセージに思わず涙がこぼれました。子どもたち主催の卒業を祝う会では、音楽の演奏やスタッフからの歌のプレゼントの他、6年生が秘密裏に準備してきたサプライズの出しもの、思い出のスライドショーと歌があり、その場にいた誰もがただ涙、涙でした。

そして、最後は劇団アニマルズの第3回公演。「大切なのは話し合いができる友だちがいるってこと」、「離れていてもずっと友だち」というメッセージが込められた等身大の自分たちを表現した作品でした。原作・台本・演出すべて自主制作。スタッフの手助け一切なしの完全に子どもたちのオリジナル作品。しかも3回目にして演技も演出も照明もさらにレベルアップしていました。リーダーとして1年間がんばってきた6年生たちにとっては、成長の証となる卒業公演でした。アニマルズのみんな、すてきな舞台をありがとう！卒業生のみんながこれからも自分らしく生きていけることを願ってやみません。(守安)



高学年、伊勢志摩の旅へ

3月1日から1泊2日で、高学年10名と引率スタッフ2名で伊勢志摩方面へ修学旅行に行きました。1日目はミキモト真珠島と鳥羽水族館、2日目はスペイン村で遊び、夜はトラン

プやきもだめし、ガールズトークで盛り上がり、思い出いっぱいのお楽しみ2日間でした。

こどもの森の修学旅行は、行き先もスケジュールも6年生が決めます。予算は一人当たり1万円ぐらい。旅費もできる限り自分たちで働いて集めます。手芸作品や手作りお菓子の販売、寄付していただいたゆずやレモンの販売やフリーマーケットで7割ほどの資金を集めることができました。こうして、子どもたちは力を合わせて旅費を手に入れ、自分たちで立てたスケジュールに従って2日間の旅を満喫しました。

さすが6年生はしっかりしていて、道中の移動の時は全員揃っているか確認したり、施設に入館した時はみんなを集めてグループ分けをして、何時にどこに集合するかを確認していました。おかげでスタッフはすることもなくただ見ただけでした。修学旅行の計画にしても、アトラクションの乗り方にしても、ひとつひとつ話し合って決めていくのは時間がかかるものですが、民主主義とはそのようなものなのだと、改めて実感できた旅でした。(守安)



箕面市市議会を傍聴しました

選択プログラム「科学・社会」では、「市民の権利」に関する学習の一環として、3月8日、箕面市議会文教常任委員会を傍聴しました。午前10時の開始5分前ぐらいに会場に入った時には、文教委員の議員さんたち、市の職員さん、そして市長さん、全員勢揃いしていて、場内は静まりかえっています。その中を席に着く子どもたちから緊張感が伝わってきました。

法改正に伴う条例改正の承認など難しい話が続いた後、小野原西地区公共施設建設という身近な問題に審議が進んだ時には、子どもたちの背筋がすうっと伸びるようでした。幸

発行日：2012年4月25日
発行者：NPO法人箕面こどもの森学園
562-0032 大阪府箕面市小野原西6-15-31
tel&fax 072-735-7676
e-mail kodomomori@nifty.com
URL http://kodomono-mori.com/

いいにも、当初は予定されていなかった図書館が、地元自治会との話し合いを通じて設計の中に入り、しかも、場所が2階から1階に変更されたことなど、市民の政治参加の見本ともいえる話を聴くことができました。

学校への帰途、図書館建設が話題になった時、子どもたちが公共施設の総面積、駐車可能な車の台数、図書館の予定蔵書数など、数字をきっちり覚えているのに感心しました。「メモをとってね」と言ったのをしっかり実践してくれたようです。

今後に繋がる1時間50分の傍聴体験となりました。(田中)

入学と進級を祝う会を行ないました！

さわやかな青空の下、入学と進級を祝う会を行いました。この会では、新入生のお祝いはもちろんのこと在校生の進級もお祝いもします。一つずつ学年のあがった子どもたちが、自分の今年度の抱負をみんなの前で宣言しました。「漢字をもっと書けるようになりたい」「計算をがんばりたい」「二重とびができるようになりたい」「サーフィンの大会に出られるようになりたい」などなど、いろんな宣言がありました。

その後、みんなでゲームをしました。新入生の女の子の好きな色や食べ物、動物などを当てるゲームなどです。少し緊張気味だった新入生の顔もゲームの途中からすっかりほぐれてきました。最後は、みんなで記念撮影。和気藹々としたあたたかい会となりました。

「一人ひとりが学校という森をつくる木でありたい」そういう思いを込めて、こどもの森学園という名前になりました。今年度も、新しい仲間と一緒に新しいタイプの学校づくりを一步一步進めていきたいと思っています。(藤田)



各種イベントのお知らせ 4月～9月

こどもの森人間関係講座入門編 3回シリーズ (5月～6月)

“子どもの能力が伸びる、親子関係を良くするコミュニケーションのとり方”

相手を大切に思ったり、心配したり、うれしかったり・・・気持ちをそのまま伝える効果的なコミュニケーションのとり方を学ぶ講座の入門編です。仲間と体験しながら学べる講座に参加してみませんか。

第1回5月21日(月)10時から12時

第2回6月4日(月)10時から12時

第3回6月18日(月)10時から12時

場所：箕面こどもの森学園森のサナルーム

講師：守安あゆみ(こどもの森学園スタッフ)

参加費：6000円(会員5500円)〈3回分〉

定員：15名(3名以上で開講します)

申込方法：5月18日(金)までに、電話またはFAXでお申込み下さい。保育はありません。

問合せ・申込先：箕面こどもの森学園事務局

TEL&FAX 072-735-7676

♪ こどもの森教育研修講座 ♪ 6月～7月 (3回シリーズ)

子ども一人ひとりの学びが大切にされ、子どもがいいきと育つ小学校。そんな箕面こどもの森学園の模擬授業を大人の方に体験していただける3回シリーズのプログラムをご用意しました。どうぞ、子どもの頃にもどっ

た気分でご参加ください。

日時：

第1回 6月16日(土)13時から15時

第2回 6月30日(土)13時から15時

第3回 9月15日(土)13時から15時

場所：箕面こどもの森学園森のサナルーム

講師：辻 正矩、藤田美保、守安あゆみ

(こどもの森学園スタッフ)

参加費：1000円/回(こどもの森会員800円)

定員：10名(3名以上で開講します)

申込方法：開催日の2日前までに、電話またはFAXでお申込み下さい。

問合せ・申込先：箕面こどもの森学園事務局

TEL&FAX 072-735-7676

夏季研修セミナー in こどもの森

世界にはいろいろな教育のカタチがあり、ユニークな学校があります。それらの事例に学びながら、子どもたちが幸せになる教育を作り出すにはどうしたらよいか、みなさんと一緒に考えてみたいと思います。学校の先生、大学生、社会人の方で興味のある方ぜひご参加下さい。(詳細はHPをご覧ください)

日時：8月11日(土)14時から21時

8月12日(日)8時から12時

場所：箕面こどもの森学園森のサナルーム

ファシリテータ：中尾、廣田

問合せ・申込先：箕面こどもの森学園事務局

《自由作文紹介》

氷こと

しゅん

朝、8時30分頃、学校の3階に上がったら、バルコニーに氷がはっていた。

思いついて、植木鉢を氷の上ですべらせてみた。

よくすべった。2mぐらいすべったと思う。

あっきーが、「おーっ」と言った。

おもしろかった。

落とし物のこと

こゆき

2月9日の朝、学校に行こうとしたら、とちゅうで、くわちゃんが道で止まっていたから見に行った。そしたら、くわちゃんが落とし物を拾っていた。落ちていたのは小さな赤い紙袋だった。「高そうだな〜」と思って、いっしょに交番に届けに行った。

最初に、萱野三平住居あとあたりの交番に行ったら、だれもいなかった。次に、小野原交番へ行ったら、やっぱりだれもいなかったけれども、電話があったので、電話をかけた。

20分ぐらい待って、やっとおまわりさんが来た。おまわりさんが袋をあけると、中に指輪が入っていた。小野原交番で1時間ぐらいかかった。

くわちゃんのお姉ちゃんと思われて、びっくりした。

マリカ7のダウンロードプレー

さき

1月22日に兄の友達が遊びに来ていた。というか、しょうちゅう来てたりする。

はじめに様子を見に行ったときは、兄はパソコン（前に私のDS lightに落ちてきたやつ）のマージャンをしていて、友達はマンガを読んでいた（遊びに来て意味あるのか?）。

それをやっている途中に、電話もなしにまた友達に来て、その友達もパソコンをやり始めた。しばらくして、また友達が来た（電話はあった）。

マンガを読んで友達と3DSのすれちがいが広場をやっていたので、私もやってみた。見ていたら、ゲーム機を持っている人同士がすれちがっていて、意外にも10人も人がすれちがっていた。兄と二人の友達もすれちがい通信をして13人になった。

次に、マリカ7のダウンロードプレーをやった。個人戦はだんかつビリだったけど、ふうせんバトルは意外にいけて、最高で総合3位になれた。1位と2位は兄の友達。けっこう楽しかった。

でも、マリカ7を買おうとは思わない。なぜなら、クリアできる自信がないから。



《卒業生からのメッセージ》

わくわくで学んだこと

多喜春華(2008年度卒業生)

私は小学2年のとき、開校したばかりのわくわく（現・箕面こどもの森学園）に入りました。わくわくでは毎日、一人ひとり違った内容の勉強ができました。少人数ということもあり、勉強面ではスタッフたちが分かるまで教えてくれ、昼休みになるといっしょに遊んだり、しゃべり相手になってもらいました。行事では、全学年混合でキャンプに行ったり遠足に行ったりして、学年関係なしでみんなと仲良くすごせました。

わくわくでの5年間で自分の趣味や将来の夢を見つけることができました。あつという間にわくわくでの小学校生活が終わり、中学校は家から少し離れた、公立で少人数の小中一貫校に通いました。入学した時は、今までより人数が多くなり、みんな同じ授業を受けるので嫌にならないか心配でしたが、周りのみんながとても温かく、先生たちもとてもよい先生だったので、毎日楽しく通うことができました。

わくわくで私は手芸や料理をよくしていたので、中学校では何か料理をするときは、率先して手伝ったり料理を作ったりしました。中学校では、わくわくで学んだことをたくさん活かし、3年間充実した毎日が送れました。今、将来のことを考えて高校も選び、一歩一歩前に進んでいます。

《スタッフの異動》

長年にわたり非常勤スタッフをやっていたいただいた辻やす子さん、と平嶋好美さんは、今年度から学習サポーターになられました。

- ①呼んでほしい名前 ②職分・担当科目 ③持っている資格など ④職歴・教育歴 ⑤特技または今関心のあること

《守安あゆみ》

- ①あゆ
②常勤スタッフ
③幼稚園教諭免許、小学校教諭免許、中高教諭免許(国語)、人間関係講座インストラクター、合気道二段
④百貨店に5年間勤務
⑤外遊びを中心とした親子サークルや子育て勉強会を10年以上続けてきました。身近な大人の関わり方次第で子どもの成長は大きく左右されると痛感しています。



《中尾 有里》

- ①ゆりちい、ゆりちゃん
②専任スタッフ(ことば・かず、音楽など)
③中高の教員免許取得のため勉強中
④今年3月に大学を卒業。在学中は、子どもキャンプや中高生向けの塾を運営
⑤音楽や書道、絵などのものづくり、水泳、スペイン語が大好きです。自分の足を運び、見聞きし、感じ取ることを大切にしています。



《廣田 景一》

- ①けいいち、ひろっきー
②非常勤スタッフ(からだづくり運動など)
③中・高保健体育教諭免許、日本サッカー協会公認A級コーチ、大型自動車免許
④幼稚園・高校・専門学校で保健体育の先生、サッカークラブの指導者、大学サッカー監督、大学助手、NPO法人レーヴェン理事
⑤対話、スポーツ、文化を使った、人間が「育つ」環境作りに挑戦したいです。



NPO 法人箕面こどもの森学園の事業活動 1月～3月

ロハス in こどもの森～春フェスタを開きました

3月17日(土)、恒例の「ロハス in こどもの森～春フェスタ」を開催しました。今回のテーマは「遊びとアート」。天気はあいにくの雨でしたが、今回も個性的な出店団体のみなさんが室内に集まりました。新鮮野菜と無添加ウインナーのよつ葉産直センターさん。モングルパンの店はるちゃん。粘土の化粧品、ポディクレイさん。フェアトレード雑貨のエスペロさん。手作り雑貨のtukiko-craftさんとアトリエ・ママ。オーガニック食材とお水にこだわったランチ、葉根ごよみさん。田中優佳さんの二人で組むヨガの体験。きんかんの会(学園の保護者会)からは、たねのお花作りとアロマせっけんのワークショップ。

イベントとしてはロハスにはいつも参加してくださっている折り紙教室の秦康雄さん。箕面おやこ劇場さんはロハス初参加で紙コップで作るバクバク人形を作って遊びました。木工室では、ストロー笛とくぎと毛糸の絵の工作教室が開かれました。街頭紙芝居師の古橋理絵さんによる、とっても楽しくてちょっぴりこわい幽霊の紙芝居。みんな昔ながらの紙芝居の世界に吸い込まれていきました。はくさんまさたかさんによる手作り楽器ワークショップ、ディジュリドゥの演奏もよかったです。(増田)



ストロー笛作り



紙芝居の公演

森のようちえんの活動(1月～3月)

1月はこどもの森学園で凧作りをしました。ビニール袋とたけひごで作る、簡単でよく上がる作り方を教えてもらい、親子の共同作業

で素敵なおオリジナルたこができました。残念ながら雨天のため公園で凧揚げをすることはできませんでしたが、千里北公園の散策をのんびり楽しむことができました。

2月は吹田市自然体験交流センターでたき火をしました。とても寒い日でしたが、落ち葉や木の枝をガンガン燃やして、焼き芋、持ち寄った野菜での塩鍋、そしてホットケーキミックスを豆乳でこねて作る簡単パンを楽しみました。

3月はロハス in こどもの森にハーブティーのブースを出店して、親子で店番や売り子を担当しました。森のようちえんの活動は3月で終了し、4月からは「こどもの森エコスクール」としてリニューアルします。今後の活動にもご注目下さい。(増田)



凧作り

第3回こどもの森講座 全校集会をしてみよう!

2月20日(月)に第3回のこどもの森講座を開きました。学生さんを中心に5名の方が参加してくれました。今回のテーマは全校集会です。フレネ教育の概要やこどもの森学園で実際に行われている全校集会の様子、大切にしていることなどをお話した後で、実際に子どもになったつもりで全校集会をやってみました。

今回の議題は、こどもの森の全校集会で話された議題で「お菓子を昼休みに食べたい」という内容でした。「お腹がすくし、楽しいから食べたい」という意見に対し、「においが臭い」「あそぶ時間が減る」などの反対意見が出ました。初めは対立していましたが、意見を言ううちに、「曜日とお菓子部屋を決めて、スナック類などはやめる」というみんなが納得するルールを作ることができました。

講座に参加された方が「小学校のときからこんな話し合いを積み重ねていったら、きっと人の話を聴いたり、自分の意見を言ったりすることができる人に育っていくと思います」とおっしゃっていました。(藤田)

フレネ教育研究会関西ブロック春季集會

2012年2月11日、12日の二日間、尼崎総合文化センターで開催されました。公立小学校実践報告として、三重から2件、兵庫から1件、そして本学園校長の藤田美保さん、学習サポーター衣田千幸さんの2件を含めて6件の報告がありました。参加者は20名でした。

日本のフレネ教育運動はちょうど30年前、公立小学校教員と大学の研究者を中心として始まりました。その後、公立小学校の教育改革運動として行われてきました。一方、本学園は公立学校とは違い、制約のない自由な学校として生まれました。したがって本校の実践がそのまま公立学校で活かされるわけではありません。しかし、今回の藤田さんの報告は教育実践の紹介に留まらず、本校の話し合いのテクニック等、公立学校でも役立つように配慮されたものでした。

公立学校でフレネ教育を実践している人たちと協力、連携していく必要性を改めて感じた集会でした。(芳仲た)



衣田千幸さんの研究報告

NPO 法人箕面こどもの森学園の活動にご支援を!

箕面こどもの森学園のさらなる発展のために、ご支援いただける方は、次のいずれかの方法でご協力願います。

- ◆正会員になる (年会費 6,000円)
◆賛助会員になる (年会費 3,000円)
◆資金・資材を寄付する
◆情報・労力を提供する
振込先: 加入者 NPO 法人箕面こどもの森学園
<郵便払込> 00980-7-232403
<郵便口座振込> 14020-68190721
<銀行振込>
ゆうちょ銀行四〇八支店(普) 6819072
池田泉州銀行小野原支店(普) 72258

※会員になれる方には入会申込書と払込用紙をお送りしますので、下記にご連絡ください。
TEL&FAX 072-735-7676
URL kodomomori@nifty.com